

平成24年度 第2回 白石町学校事務共同実施協議会

2/28開催

白石町「事務の共同実施」は、5年目が経過いたしました。これまでの活動を振り返り、来年度への課題等を協議するため、江口教育長・小中学校長・教頭会代表・教委事務局・小中学校事務職員出席のもと、庁舎会議室において共同実施協議会が開催されました。

今回の報告は、パワーポイントを利用し、活動状況の写真を多く取り入れながらの説明でした。丁寧な説明でわかり易かったと好評でした。

はじめに今年度の業務報告と課題等が提案されました。2年目となった「学校預り金」については、教員の事務量軽減に繋がり、素晴らしい取り組みで感謝しているとお言葉をいただきました。また、教委・校長会・事務職員合同での学校巡りは、危険箇所改修という目に見える活動で今後も続けて欲しいと元気づけられました。次に、事務職員の学校運営参画についてのアンケートの報告がありました。

吉田中心校校長より、学校を取り巻く環境が複雑多岐になってきている。学校教育目標達成のためには、組織マネジメントにより全教職員が取り組まなければいけません。共同実施もステージアップを図りながら、白石町の子供たちの豊かな育ちを支援して欲しいと締めくくっていただきました。



互助会からのお知らせ

◆平成25年度人間ドッグについて◆

平成25年度の人間ドッグの決定通知書がお手元に届くころです。必ず自分が受診するドッグの種類（オプションなど）を確認してから、平成25年11月30日以前の日程で医療機関に予約をしてください。平成25年12月1日以降に受診をした場合は原則自己負担になりますので注意！

◆互助会事業の見直しについて◆

互助会の財政運営赤字はじめ一般財団法人への移行などの諸事情により、平成25年度より事業の大幅な見直しがあります。主な廃止事業は下記の通り。そのほかにも補助金削減などが予定されています。新年度には、互助会より正式なお知らせ届くかと思いますので、そちらでご確認ください。

【廃止事業】・スキーツアー補助・フリープラン・入学卒業祝品・独身等会員優待制度



学校組織マネジメント研修に参加して

有明西小学校の事務 白武先生につくば研修レポートを書きいただきました☆

2月25日(月)より3月1日(金)まで、茨城県つくば市の教員研修センターで開催された「平成24年度学校組織マネジメント指導者研修」に参加しました。

過去2年は震災のため出席出来ない県がありましたが、今年度は全都道府県より191名の学校事務職員が参加しての研修となり、講義と演習がぎっしりと詰まった5日間でした。

「組織マネジメント」・・・聞いたことがある方は多いと思いますが、具体的にはどういうことを意味し、マネジメントを学校に導入する意義は何でしょうか。

1998年中央教育審議会による答申「今後の地方教育行政の在り方について」の中で、“自らの判断による学校づくり”と“学校、保護者、地域の関係者による連携”が提言されました。

この提言の持つ影響は大きく、取り組みを実践するためには、それまでの個(学級、学年)の活動から学校全体としての説明責任(アカウンタビリティ)、社会的責任(SR:ソーシャル・レスポンシビリティ)を果たすことが求められるようになりました。

そこで、個人が単独で出来ない結果を達成するために、他人の活動を調整する一人ないしはそれ以上の人々の活動＝組織マネジメントの考え方が必要になってきたわけです。

簡単な説明ですが、この組織マネジメントに学校事務職員という立場からどのように携わり、推進していくかが今回の研修の内容でした。

一日のカリキュラムが終了すれば交流会(飲み会!?)を毎日行い、講義や演習の内容に加え、全国の仲間との絆を持たせたことが大きな財産となった研修でした。

★事務職員レポート★ (今回は白石小と須古小です!)

今年度ラストです!
ありがとうございました☆



今年も3月半ばとなり、平成24年度にさよならをする時季になりました。

私事で恐縮ですが1月の初め父が亡くなりました。白石小の職員の方にはもちろんのこと病院の先生、看護師さん、ケアマネージャーさん、ヘルパーさん、斎場等の方々には大変お世話になりました。わからないことが多く、何度もお尋ねをしたり、介護の方法等を見せていただいたりしましたが、ご多忙にかかわらず親切に教えてくださいました。また、わたし自身も1年ずつ年を重ねており、まだ先だと思っていた老人医療、福祉問題は避けてはいけないより身近な問題になってきました。

週休日に外出するとあちらこちらでリハビリの送迎車をよく見かけます。

白石小 川崎 和子



皆さんは、白石町の「須古地区」に伝わる伝統料理『須古寿司』を御存知ですか? 今から、500年以上前から伝わる料理で、祭りや祝い事の時などに作られます。もとは、須古の領民が、善政を敷いた領主に感謝を込めて献上した料理だそうです。

寿司飯を、「もろふた」に敷き詰めて小分けに区切りを入れ、ムツゴロウの蒲焼をはじめとする色とりどりの具を盛り付けた寿司で、具は、季節や各家庭によって様々な海や山の幸が用いられています。高台につくられた「隆城」から時の領主が見ていた、須古地区に広がる美しい田園風景をながめながら食べるのは格別です。ぜひ、みなさんも食べてみてください。

須古小 藤井 陽太郎



★共同実施日より『しろいし』はWebでもご覧になれます。
<http://shiroishijimu.blog17.fc2.com/>
↑たくさんのアクセスお待ちしております。

携帯でもご覧になれます。
バーコードリーダー機能を使って読み込んで下さい。

